

参考資料

- ・ 調査実施の手引き
- ・ 調査用ウェブサイト（日本語）
- ・ 調査用ウェブサイト（英語）

【調査1】「令和4年度 博士(後期)課程学生の経済的支援状況に係る調査」

【調査2】「博士(後期)課程1年次における進路意識と経済的支援に関する調査」

調査実施の手引き

【目次】

0. はじめに	1
1. 調査の目的と概要	1
2. 調査方法	3
3. Q&A	8

令和4年12月



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



科学技術・学術政策研究所

National Institute of Science and Technology Policy

※調査1は文部科学省から委託を受け、株式会社リベルタス・コンサルティングが実施（科学技術・学術政策研究所（NISTEP）も連携）します。

調査2は文部科学省 科学技術・学術政策研究所(NISTEP)が調査主体となって実施します。

0. はじめに

1. 大学事務局からのお問い合わせは電子メールでお願いします。

本調査に関するお問い合わせは、以下のメールアドレスまで御連絡ください。1週間以内に御回答いたします。

調査1：博士（後期）課程学生の経済的支援状況に関する調査

質問用メールアドレス： doctoral@libertas.co.jp

質問メールの件名：【質問】〇〇大学

調査2：博士（後期）課程1年次における進路意識と経済的支援に関する調査

質問用メールアドレス： d1survey@nistep.go.jp

質問メールの件名：【質問】〇〇大学

※調査1に関するご質問であっても、ウェブシステム等の技術面に関わる質問の場合は、メールのお問い合わせ先に d1survey@nistep.go.jp も含めてください。

2. 調査1および調査2に関して、回答結果を取りまとめたExcelシートを、令和5年1月31日（火）17時までに回答提出フォーム（<https://hakase.nistep.go.jp/m/kaito>）から、ファイルアップロードにて御提出頂きます。（詳細な手順は、本手引き内をご参照下さい）
※博士人材からのウェブ調査の回答〆切は令和5年1月23日（月）まで

1. 調査の目的と概要

(1) 調査背景

我が国が持続的な成長を遂げていくためには、その成長を牽引する博士人材の活躍が不可欠です。博士（後期）課程学生への経済的支援の増強は、博士（後期）課程への進学者数の増加および博士人材の研究への専念の両面から重要視されています。令和3年度から令和7年度にかけて適用される第6期科学技術・イノベーション基本計画においては、令和7年度までに生活費相当額を受給する博士（後期）課程学生を平成30年度実績の3倍増の3割とする経済的支援に関する目標が掲げられています。

そこで、直近の博士（後期）課程学生に対する経済的支援の状況等を詳細に把握すること等を目的として、【調査1】「令和4年度 博士（後期）課程学生の経済的支援状況に係る調査」及び【調査2】「博士（後期）課程1年次における進路意識と経済的支援に関する調査」を実施いたします。

(2) 調査概要

博士課程学生が受給する経済的支援について、個人の財源別受給額及び総額、大学からの支給額、TA・

RA雇用の状況などを調査します。【調査1】「令和4年度 博士(後期)課程学生の経済的支援状況に係る調査」は、平成25年度、平成28年度、令和元年度に各大学に対し行った「博士課程学生の経済的支援状況に関する調査研究」の継続調査になります。

また、あわせて博士(後期)課程1年生に対しては、博士(後期)課程1年生の冬段階における進路意識と経済的支援の状況を把握するため、【調査2】「博士(後期)課程1年次における進路意識と研究環境の調査」を実施します。

【参考】令和元年度博士課程学生の経済的支援状況に係る調査研究

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/itaku/1418370_00004.htm

(3) 実施主体

【調査1】「令和4年度 博士(後期)課程学生の経済的支援状況に係る調査」は、文部科学省高等教育局高等教育企画課高等教育政策室からの委託を受け、先導的大学改革推進委託事業^(※)による調査研究の1テーマとして、株式会社リベルタス・コンサルティングに調査委託を行い、実施(文部科学省 科学技術・学術政策研究所(NISTEP)も連携)します。

また、【調査2】「博士(後期)課程1年次における進路意識と研究環境の調査」については、文部科学省 科学技術・学術政策研究所(NISTEP)が調査主体となって実施します。

いずれの調査も文部科学省 科学技術・学術政策研究所(NISTEP)が管理するウェブアンケート調査システムを通じて調査対象の学生は回答を行います。

(※) https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/itaku/index.htm 参照

(4) 博士人材データベース(JGRAD)との連携について

第6期科学技術・イノベーション基本計画においては博士(後期)課程修了者の就職・活躍状況を把握するための追跡調査も同様に重要視されています。この追跡調査を目的の一つとして、文部科学省 科学技術・学術政策研究所(NISTEP)では、情報基盤として博士課程学生・博士課程修了者を登録対象とする博士人材データベース(JGRAD、以下「JGRAD」という。)^(※)を運営しています。

本調査事業は、科学技術・学術政策研究所(NISTEP)と連携して実施し、経済的支援調査および博士1年調査に回答した博士(後期)課程学生に対して、ウェブ調査の回答後にJGRADへの登録および回答情報の転送の承諾を得て、JGRADの登録者増加を促進することも目的といたします。

このため、本調査の博士人材によるウェブ回答は、経済的支援調査の統計分析および科学技術・学術政策研究所(NISTEP)が運営するJGRADへの登録、情報の補完に利用されます。なお、JGRADへの登録を希望しない博士人材には、調査回答後にJGRAD登録の不承諾の手続きをとっていただければ、JGRADへの登録を行いません。

(※) <https://jgrad.nistep.go.jp/> 参照

2. 調査方法

(1) 調査対象

【調査1】令和4年度 博士（後期）課程学生の経済的支援状況に係る調査

博士課程を設置する国公立大学において、令和3年度に在籍していた全ての博士課程の学生（調査期間において既に博士課程を修了している／いわゆる「満期退学」した方も含みます）を対象とします。

【調査2】博士（後期）課程1年次における進路意識と経済的支援に関する調査

博士課程を設置する国公立大学において、令和4年度に博士（後期）課程に入学した学生を対象とします（2022年4月以降の博士（後期）課程入学者）。

なお、博士課程とは、前期・後期に区分する博士課程の後期の課程（前期・後期の区分を設けない博士課程についてはこれに相当する3年間、医歯薬獣医学についてはこれに相当する4年間とする）をいいます。従って、修士課程および博士前期課程の学生は調査の対象としません。

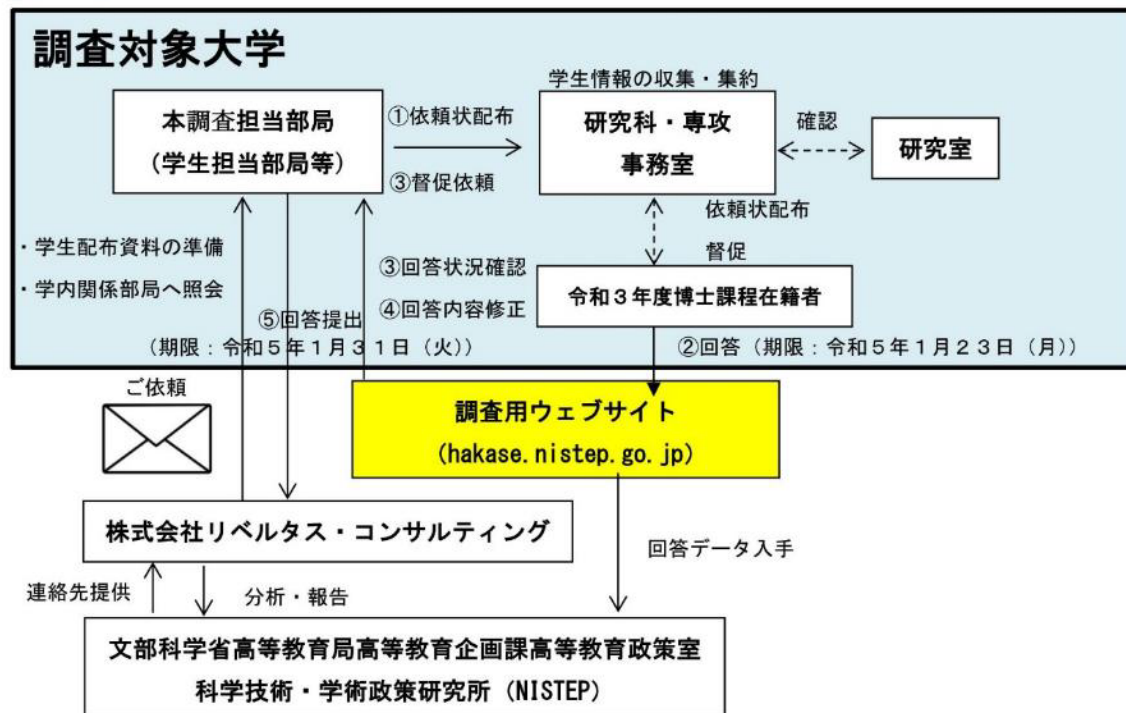
(2) 実施体制

【調査1】は文部科学省高等教育局高等教育企画課高等教育政策室の委託を受け、【調査2】は文部科学省 科学技術・学術政策研究所（NISTEP）と共同で、株式会社リベルタス・コンサルティングが調査対象大学に対して調査を依頼しております。各大学の本調査担当部局（学生担当部局等）が、対象学生（令和3年度博士課程在籍者）等と連絡を取り調査の依頼をお願いします。

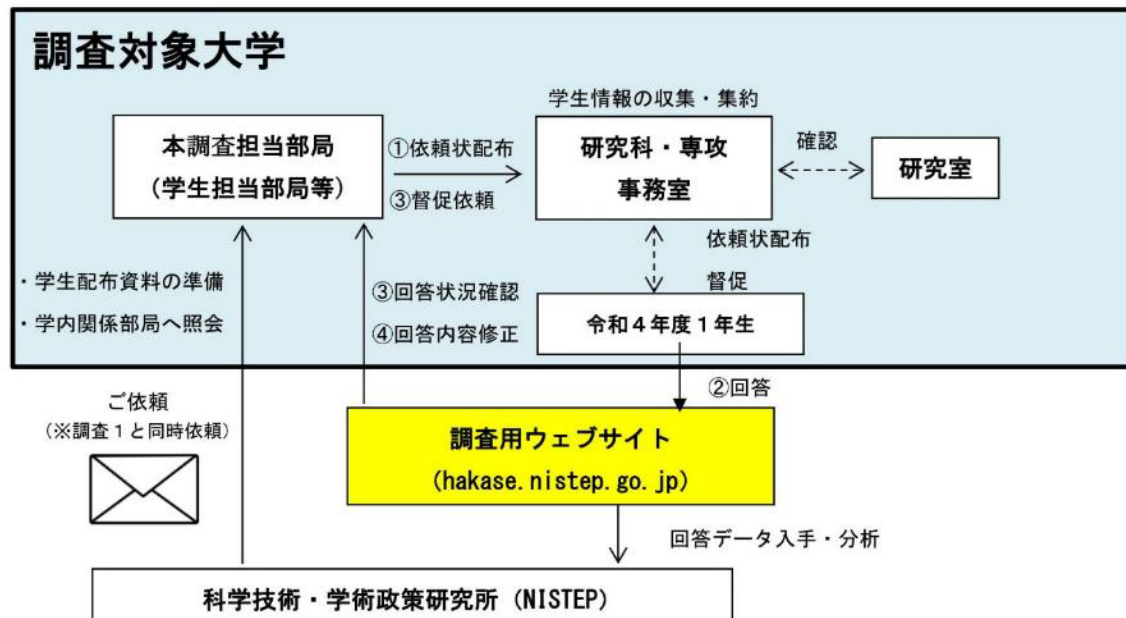
基本的な実施体制・フローは、次頁の通りを想定していますが、学内における対応は、各大学の実情に合わせて行っていただくようお願いいたします。なお、調査の流れや要点は、大学事務局向けのオンライン説明会に利用した概要説明資料にも記載しています。

<調査の実施フロー(イメージ)>

【調査1】



【調査2】



※①～⑤は、次頁の「(4) 調査の手順」に対応しています

(3) 本調査の配付物

1) 調査の手引き(PDF ファイル ※本ファイルです)
2) 【調査 1】と【調査 2】の学生用ご依頼状(PDF ファイル) ※ご依頼状は A4 サイズで上側に日本語での調査依頼、下側に英語での調査依頼を記載しています。 ※同一の大学であっても、研究科ごとに調査用の大学・研究科 ID は異なります。
3) 大学別の個人回答共有 URL が示された Excel
4) 研究科単位で依頼状ファイル名、調査用 ID を含めた調査サイトの URL 一覧が示された Excel
5) 専攻別回答 Excel の改訂元シート ※大学事務局に専攻単位で、回答情報を記入していただく Excel の改訂元シートです。

- ・ 2) 学生用ご依頼状を、【調査 1】令和 3 年度の博士課程の学生（現在、博士課程修了・退学 1 年目のものを含む）、及び【調査 2】令和 4 年度に博士課程 1 年生、に配付してください。学生は、調査用ウェブサイトを通じて各調査への回答をしていただきます。

※大学・研究科ごとに、依頼状に記載されている ID が異なりますので、ご注意ください。

- ・ 大学本調査担当部局（学生担当部局等）では、所属する/所属した調査対象者の回答情報を確認、必要に応じた回答者への回答内容の確認、修正依頼を行っていただけます。

(4) 学生向けのウェブ調査の手順

① 学生へのアンケート依頼（大学本調査担当部局（学生担当部局等））

以下の対象者に、2) 学生用ご依頼状を、PDF または紙で配付して下さい。

【調査 1】	令和 3 年度の博士（後期）課程に在学した学生 ・ 貴学に現在、在籍している博士課程（後期）2 年目以上の学生 ・ 現在、博士課程（後期）修了・満期退学 1 年以内の方
【調査 2】	・ 貴学に現在、在籍している博士（後期）課程 1 年目の学生

※留年等により昨年度も今年度も博士課程（後期）1 年生の学生であっても令和 3 年度に在学していれば、【調査 1】の依頼状をお渡しください。

- ・ 2) 学生用ご依頼状には、調査用の大学・研究科 ID 及び調査回答用の URL が記載されています。研究科別に学生（修了・満期退学者含む）に依頼状を配布して下さい。

② 調査票の回答（学生（修了・満期退学者含む））

依頼状を受け取った学生（修了・満期退学者含む）は、依頼状に記載された URL または QR コードから、調査用ウェブサイトアクセスし、本調査へのウェブ回答を行います。

なお、学生（修了・満期退学者含む）には、調査用ウェブサイトアクセス後、最初に、「調査用の大学・研究科 ID」、及び「学籍番号/学生証 ID」「氏名」「メールアドレス」を入力していただきます。これにより、ウェブシステムから回答者毎に自動で回答者コードが付与されます。回答者コードは、回答者が登録したメールアドレスに送付されます。回答者は、「調査用の大学・研究科 ID」「回答者コード」「記入したメールアドレス」を利用することで、調査期間中は、中断した回答の再開および回答の修正が可能です。

学生向けウェブ回答受付開始：令和4年12月19日（月）正午

学生向けウェブ回答締め切り：令和5年1月23日（月）

※対象となる学生には、学生向けウェブ回答受付開始後の令和4年12月19日（月）午後以降に調査依頼および調査用IDを伝達するようにしてください。

※学生向けに公開する回答締め切り日は上記の通りですが、大学事務局のExcel提出の締め切り日まで、学生向けのウェブ調査用サイトを利用可能にしておきます。大学事務局が回答の取りまとめ時に、回答内容の不整合に気がついた場合は、学生にメール等で回答不備を伝達し、学生によってウェブ回答を訂正してもらい、共有Excelから学生が訂正した回答データを再びダウンロードすることも可能です。

③回答状況の確認（大学本調査担当部局（学生担当部局等））

大学事務局が、回答した学生（修了・満期退学者含む）の回答状況を半日程度遅れてチェックできるクラウドストレージ上のBox上のExcelのURLを共有いたします。このURLは各大学の事務局大学宛にメールでお知らせします。共有しているExcelにおいては、回答を開始した者のみ学籍番号が表示されます。共有Excelに学籍番号の表示がない調査対象者は、ウェブ回答を開始していない者となります。共有Excelの情報を利用することで、未回答者に絞った督促を行うことが可能です。

※回答状況を記したExcelには、学生の学籍番号、氏名、メールアドレス等の個人情報が含まれていません（調査実施時に、学生には、所属する大学の本調査担当者（学生担当部局等）が、回答を閲覧することは伝えております）。取り扱いには十分ご注意ください、また閲覧は担当者限りとしてください。

【学生への連絡内容】

(2)調査実施体制と情報共有体制

本調査は、文部科学省 高等教育局 高等教育企画課が調査主体となり、文部科学省 科学技術・学術政策研究所（NISTEP）と連携して行います。また、本調査の実施は高等教育企画課からの委託を受けた株式会社リベルタス・コンサルティングが行います。加えて、調査対象者が博士（後期）課程に所属している/所属していた各大学事務局とも回答内容の情報共有が行われます。ただし、各大学事務局との情報共有は、単科大学や規模の小さい大学院など実務面での分担が難しい場合を除いて、通常業務において博士課程学生個々人と接することのない大学本部等の職員のみで情報管理していただくことを大学事務局にお願いしています。

(5) 大学事務局における専攻別 Excel 回答の記入

学生向けの個人単位のウェブ調査とは独立して、大学事務局には専攻別回答のExcelファイルに記入していただきます。専攻別回答Excelの改訂元ファイルは、各大学向けに提供いたしますので、受領したExcelファイルを改訂する形で、専攻別の回答用Excelファイルを作成してください。

【①調査対象者がいる専攻が欠測していた場合の対応】

専攻別 Excel においては、改訂元 Excel の記載において、【調査 1】【調査 2】のいずれかの調査対象者がいる専攻に記載漏れがあれば、Excel の行を追加する形で記載を行ってください。また、追加した行には K 列に「専攻名」L 列に「学校基本調査に準拠する専攻の研究分野」を記載してください。なお、学校基本調査の研究分野一覧表は、改訂元の Excel ファイルの別シートに格納されています。

【②年間授業料の記入】

専攻別 Excel の N～Q 列においては、各専攻の授業料として「2019 年度入学者 年間授業料」～「2022 年度入学者 年間授業料」として、各年度の入学者の授業料を記載してください。なお、該当する入学年度に専攻が存在しなかった場合は、空欄としてください。また、同一の入学年、同一の専攻でも授業料が異なる場合は、最も多くの者が適用される授業料を記載し、R 列の備考欄に授業料に相異が出る条件を記載してください。

【③各調査の調査対象者数（母集団）の人数の記入】

専攻別 Excel においての S 列、T 列においては、【調査 1】と【調査 2】に関して、各専攻における調査対象者数（母集団）の人数をそれぞれ記載してください。

(6) 学生のウェブ回答の確認と督促について

大学個別宛のメールでお知らせするクラウドストレージ上の Box にアクセスいただくことで、学生の個人別回答状況を示す Excel ファイル（回答一覧ファイル）を入手することができます。この Excel ファイルを簡潔に加工することで、【調査 1】【調査 2】の学生の個人単位の回答ファイルが作成できます。

ウェブ回答ファイルのイメージ（各調査の個人単位シート）

大学名	研究科名	大学・研究科コード ⇒改訂後の調査用ID	回答者コード	学籍番号	メールアドレス	[Q1-1]
テスト大学	文学研究科	u9999a	100011	L123455	aaa@gmail.com	...
テスト大学	文学研究科	u9999a	100210	L123433	bbb@testuniv.ac.jp	...
テスト大学	文学研究科	u9999a	100322	L123418	ccc@yahoo.ne.jp	...

■学生のウェブ回答期間中にご対応頂きたいこと（～令和 5 年 1 月 23 日（月））

- ・本 Excel ファイルは個人情報や回答内容を含みますので、各大学の本部のみでの厳重管理の取り扱いとしてください。
- ・調査対象者に対しては適宜、督促のご協力をお願い致します。特に回答状況を示す Excel ファイルに調査対象者で学籍番号が表示されていない者は、回答を開始してない者となります。

■学生のウェブ回答期間締め切り後にご対応頂きたいこと（～令和 5 年 1 月 31 日（月））

- ・個人単位シートの学生の回答内容をご確認いただき、不整合のある回答内容については修正をお願いします。明らかな不整合がある場合は、大学事務局で Excel 提出前に修正していただくことも、回答者に調査用ウェブサイト上で回答の修正を依頼することもできます。学生の回答期間が終了した 1 月 24 日～1 月 31 日も、本人による回答修正が可能となるよう調査用ウェブサイトを利用可能といたします。

(7) 回答ファイルの提出方法

学生のウェブ回答期間が終了し、回答提出用の「専攻別回答の Excel」、「【調査 1】の個人回答 Excel」「【調査 2】の個人回答 Excel」の Excel ファイルの 3 種の準備ができれば、本調査の回答提出用フォーム (<https://hakase.nistep.go.jp/m/kaito>) から Excel ファイルをアップロードしていただく形でご回答を提出してください。

なお、回答の Excel ファイルをアップロードで提出していただく際に、各回答ファイルは下記のファイル名を付けてアップロードしてください。

【専攻別回答】u1234_〇〇大学.xlsx

【経済支援個人回答】u1234_〇〇大学.xlsx

【博士一年個人回答】u1234_〇〇大学.xlsx

※ 上記のファイル名の例示で「u1234」となっている箇所は各大学に付与された本調査用の大学別 ID としてください。また、「〇〇大学」の箇所は自大学の大学名を記入してください。

3 種の回答ファイルを回答提出用フォームからアップロードが完了すると、admin@smail.nistep.go.jp より、回答ファイルの受領の自動メールが回答提出フォームに入力したメールアドレスに届きます。この受領通知メールをもって本調査へのご協力は完了となります。

3. Q&A

(1) 調査対象について

- ①令和 3 年度より前に満期退学となり、その後令和 3 年度中に論文を提出して博士号を取得した場合は、令和 3 年度の「修了者」、あるいは「満期退学者」として扱うのでしょうか。【調査 1 のみ】
- 本調査は令和 3 年度に在籍していた全ての博士課程学生を対象とするものですので、令和 3 年度より前の満期退学等により令和 3 年度中に在籍関係のない学生については、令和 3 年度中の学位取得の有無に関わらず本調査の対象としません。
- ②博士課程に在籍せず博士号を取得する者（論文博士等）は、本調査の対象となりますか。【調査 1 のみ】
- 博士課程に在籍せず博士号を取得する者は、本調査の対象としません。

③専門職大学院に在籍する学生も、本調査の対象になりますか。【調査 1、調査 2】

➤ 本調査の対象としません。

④令和 3 年度に休学していた学生は、本調査の対象になりますか。【調査 1 のみ】

➤ 令和 3 年度を通して休学していた学生は、本調査の対象としません。

⑤普通退学や除籍となった学生は、本調査の対象になりますか。【調査 1、調査 2】

➤ 本調査の対象としません。

⑥年度の途中で中途退学した学生は、本調査の対象になりますか。【調査 1、調査 2】

➤ 本調査の対象としません。

⑦通信教育課程の学生（博士課程）は、対象者に含まれるのでしょうか。【調査 1、調査 2】

➤ 本調査の対象としません。

⑧外国籍の留学生も対象は、対象者に含まれるのでしょうか。【調査 1、調査 2】

➤ 本調査の対象となります。

⑨留学生で来日できなかった学生（休学せずに在学していた場合）は、対象者に含まれるのでしょうか。

【調査 1、調査 2】

➤ 在学していた場合は対象となります。

⑩令和 3 年 9 月に修了・満期退学をした学生は対象になりますか。【調査 1 のみ】

➤ 本調査の対象となります。

⑪調査依頼状の配布後に中途退学した学生は対象になりますか。【調査 1、調査 2】

➤ 2.（1）の調査対象に該当する場合は、本調査の対象となります。

⑫大学内に「博士課程がない」あるいは「博士課程があっても調査対象者がいない」場合はどうすれば良いですか。【調査 1、調査 2】

➤ その場合には、その旨をメールに記載して doctoral@libertas.co.jp、d1survey@nistep.go.jp までご連絡をお願いします。

（2）調査方法について

⑬学生自身が回答の修正を行いたい場合、どのようにすればよろしいでしょうか。【調査 1、調査 2】

➤ 調査の最初に入力した電子メールアドレス宛に、回答再開・修正用のウェブページの URL と回答者コードを記載した自動メールが送信されます。こちらの URL にアクセス頂き、回答者コードを入力いただくと、回答の修正を行うことができます。

(3) 学生向けのウェブ調査項目について

⑭Q 1－2 の令和 4 年 3 月より後に、博士号を取得した場合は、どちらを選ばよろしいのでしょうか。

【調査 1 のみ】

➤ 令和 4 年 3 月までに、学位を取得していなかった場合には、「学位なし」をお選びください。

⑮Q 1－4 の博士課程在籍年数に休学期間は含まれますか。【調査 1 のみ】

➤ 休学期間は在籍年数に含めず、休学期間を除いた年数をご回答ください。

⑯標準修業年限について、長期履修制度を適用した場合、例えば通常の年限は 3 年のところを長期履修制度の利用により 5 年にした場合で、最終的に 4 年で卒業した場合は、あくまで標準は 3 年と考え、「2. 標準修業年限を超える」を選択するということによろしいのでしょうか。【調査 1 のみ】

➤ 「1. 超えない」と回答してください。回答する学生の標準修業年限以内か、超えるか、で判断をお願いいたします。長期履修制度の方は、長期履修制度の年限を越えているかどうかで判断して下さい。

⑰RA（リサーチアシスタント）の名称ではないが、月給で支給されている RA とほぼ同様の業務について、「TA・RA」あるいは「アルバイト・副業」のどちらで回答した方が良いでしょう。【調査 1、調査 2】

➤ RA の名称でなくても、業務内容が RA であれば「TA・RA」で回答してください（TA の場合も同様）。

⑱TA・RA の「受給額」には、「大学等からの支給額」または「税金・社会保険料等を差し引いた、振込額（いわゆる手取り額）」のどちらを記入するのでしょうか。【調査 1、調査 2】

➤ 「大学等からの支給額（税込み額）」をご回答ください。

⑲授業料等の減免について、長期履修制度などで授業料が半額などになる場合も対象となりますか。【調査 1、調査 2】

➤ 対象とはなりません。

⑳授業料等の減免について、留学生の母国政府等が肩代わりしているような場合も対象となりますか。

【調査 1、調査 2】

➤ 授業料等の減免の対象とはなりません。

㉑授業料について、「入学金」、「施設設備資金」、「実験実習料演習費」などの項目も含めますか。【調査 1、調査 2、専攻別】

➤ 含めないでください。授業料のみを回答お願いします。

㉒「日本学生支援機構の奨学金」には、「学習奨励費」などの外国人留学生対象の奨学制度も含みますか？

【調査 1、調査 2】

- 「日本学生支援機構の奨学金」としては含めず、「その他の経済的支援」において(13)または(14)で記載していただければ幸いです（日本学生支援機構の奨学金は貸与型（原則、留学生は対象外）を念頭においています。）。

（４）その他

②③調査回答の利用方法について教えてください。

- 文部科学省は回答情報に含まれる個人情報について、以下の目的のために利用します。
- [1] 博士課程在籍者、修了者の経済的支援等に関する統計の作成と公表
 - [2] 博士課程在籍者、修了者の経済的支援等に関する分析・学術研究
 - [3] 博士課程在籍者・修了者がより充足・活躍するための施策・取り組みの企画・立案
 - [4] 科学技術・学術政策研究所が運営する博士人材データベース（JGRAD）への情報の転送 [本調査の回答終了後に回答者によって別途、承諾があった場合のみ]
 - [5] 上記 [1] [2] [3] [4] に関する各種調査、依頼、情報提供のための通信・連絡（本調査の回答に不整合・不備があった場合の確認連絡を含む）

上記[1]の統計および [2]の分析結果に関して、個人が特定されるような情報は一切公開されません。

②④「調査 1」の経済的支援調査は今後毎年実施されますか。

- 3年に1度の実施を想定しております。

以上

令和4年度博士（後期）課程学生の 経済的支援状況に係る調査【トップページ】



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

(1)本調査の目的

本調査は、「[第6期科学技術・イノベーション基本計画](#)」（[令和3年3月閣議決定](#)）において、令和7年度までに、生活費相当額を受給する博士後期課程学生を平成30年度実績の3倍増の3割とすることを旨とされていることを受け、博士課程の学生の経済的支援の受給状況を把握すべく実施するものです。本調査により得られるデータは、今後の大学院および博士課程学生への支援策を検討するための基礎データとして活用していく予定です。

(2)調査実施体制と情報共有体制

本調査は、[文部科学省](#) 高等教育企画課が調査主体となり、[文部科学省 科学技術・学術政策研究所（NISTEP）](#)と連携して行います。また、本調査の実施は高等教育企画課からの委託を受けた株式会社リベルタス・コンサルティングが行います。加えて、調査対象者が博士（後期）課程に所属している/所属していた各大学事務局とも回答内容の情報共有が行われます。ただし、各大学事務局との情報共有は、単科大学や規模の小さい大学院など実務面での分担が難しい場合を除いて、通常業務において博士課程学生個人と接することのない大学本部等の職員のみで情報管理していただくことを大学事務局にお願いしています。

(3)本調査の対象者と並行実施している調査

本調査の対象者は令和3年度（2021年4月～2022年3月）において、日本国内の大学において博士（後期）課程に在籍していた全ての方（令和3年度全期間の休学者および中途退学者は除く）です。調査時点において既に修了・単位取得退学した方も調査対象に含まれます。一方で、令和4年度（2022年4月以降）に博士（後期）課程に進学した方に関しては、別途「[博士（後期）課程1年次における意識調査と経済的支援に関する調査](#)」を実施していますので、そちらの調査にご回答ください。大学事務局から調査用の大学・研究科IDを受けとっておらず分からない場合は、調査実施者（[お問い合わせ用フォーム](#)）または調査依頼を配付した大学事務局にご連絡ください。

(4)回答情報の利用目的

文部科学省は回答情報に含まれる個人情報について、以下の目的のために利用します。

- [1] 博士課程在籍者、修了者の経済的支援等に関する統計の作成と公表
- [2] 博士課程在籍者、修了者の経済的支援等に関する分析・学術研究
- [3] 博士課程在籍者・修了者がより充足・活躍するための施策・取り組みの企画・立案
- [4] 科学技術・学術政策研究所が運営する博士人材データベース（JGRAD）への情報の転送【本調査の回答終了後に回答者によって別途、承諾があった場合のみ】
- [5] 上記[1] [2] [3] [4]に関する各種調査、依頼、情報提供のための通信・連絡（本調査の回答に不整合・不備があった場合の確認連絡を含む）

上記[1]の統計および[2]の分析結果に関して、個人が特定されるような情報は一切公開されません。

上記[4]の博士人材データベース（JGRAD）に関しては、「[博士人材データベース（JGRAD）について](#)」をご参照ください。

(5)回答情報に関する安全のための措置

文部科学省は、個人情報について、個人情報の保護に関する法律、その他関係する法令に基づき、適切に取り扱うものとし、個人情報の漏えい、滅失又はき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じるものとします。

(6)英語版ウェブ調査票および回答再開・修正用フォーム

本調査のウェブ調査票は、日本語と英語で用意しています。英語版ウェブ調査票で回答したい場合は、下記のURLから回答を開始してください。
(If you would like to answer to the English web survey form, please start your answer from the following URL.)

英語版ウェブ調査票（トップページ） / English web survey form : <https://hakase.nistep.go.jp/m/ae>

本調査は回答再開・回答修正ページで「調査用の大学・研究科ID」「回答者コード」「メールアドレス」でログインすることで回答の再開、修正ができます。なお「回答者コード」は本トップページの下記の欄に必要事項を記入し、「回答を開始する」のボタンをクリックすると自動的に発行されます。発行された「回答者コード」は、調査票ウェブページの右上に表示されます。加えて、回答開始時に本ページで記入していただくメールアドレスに「回答者コード」が記載された自動送信メールが送付されます。日本語版ウェブ調査票の回答の再開、修正を行う場合は、下記のURLから開始してください。

過去の回答の再開・更新用フォーム : <https://hakase.nistep.go.jp/m/rea>

なお、回答再開・回答修正のページは日本語版ウェブ調査票、英語版ウェブ調査票で分かれています。英語版ウェブ調査票で回答開始した場合は、英語版の回答再開・修正フォームへログインする必要があります。

(7)本調査の回答期限

「令和4年度博士（後期）課程学生の経済的支援状況に係る調査」のウェブ調査の回答期限は、2023年1月23日（月）となります。

(8)調査協力をお願い

「(1)本調査の目的」に示したように、本調査は大学院・博士課程学生への経済的支援の実態把握と拡充を目指して実施しています。「(3)本調査の対象者」に示した調査対象者に該当し、調査趣旨および情報の取扱いにご理解いただけた方は、ご多用中とは存じますが、本ページの下記の欄に大学事務局または調査実施者から受領した調査用の大学・研究科IDを記入し、ウェブ調査にご回答いただきますようお願いいたします。なお、このページにアクセスしたURLやQRコードによって、調査用の大学・研究科IDが自動的に記入されている場合は、記入を変更せず回答を開始してください。

調査用の大学・研究科ID (必須入力、半角英数のみ)

学籍番号/学生証ID (必須入力、半角英数のみ)

※ 調査期間において博士課程を修了・満期退学しており、学籍番号を忘れてしまった場合は、学籍番号の欄に「forget」と入力してください。

※ 学籍番号にハイフンが含まれている場合でも、ハイフンを除いて入力してください。

氏名 (必須入力)

メールアドレス (必須入力、メールアドレス形式)

※下側のボタンをクリックして回答開始した時点で、記入したメールアドレスに回答確認・回答再開に必要な情報が送信されます。

回答を開始する

令和4年度博士（後期）課程学生の 経済的支援状況に係る調査 [1]



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



回答者コード：

あなたの令和3年度の博士課程での状況について、おたずねします。

[Q1-1] あなたは、令和3年度に博士課程を修了しましたか。

- ☐ (1) 令和3年度に修了した
☐ (2) 令和3年度に修了していない
(必須選択)

※本調査における博士課程修了は「所定の就学年限以上在学し、所定の単位を取得した後に退学した」いわゆる単位取得（満期）退学を含みます。

[Q1-2] 令和3年度に博士課程を修了された方におたずねします。

あなたは、令和4年3月末時点で博士号を取得していましたか。該当する番号をお選びください。

- ☐ (1) 博士号を取得した
☐ (2) 博士号を取得していない
(任意選択)

[Q1-3] あなたが学位を取得した月（満期退学者の方は、退学した月）をお答えください。

選択してください (必須選択)

[Q1-4] 令和3年度末時点（修了者の方は修了時点）の博士（後期）課程の在籍期間は標準修業年限以内ですか。

- ☐ (1) 標準修業年限以内
☐ (2) 標準修業年限を超える
(必須選択)

※例えば、標準修業年限が3年の課程で、平成31（令和元）年度入学の場合、令和3年度は在籍3年目のため、回答は「(1) 標準修業年限以内」となります。

[Q1-5] あなたは、令和3年度において留学生に該当しましたか。

- ☐ (1) 日本国外の大学を卒業した留学生であった（大学院から日本に来た）
☐ (2) 日本国内の大学を卒業した留学生であった（大学の学部から日本に来た）
☐ (3) 留学生ではない
(必須選択)

※「留学生」とは、日本の大学・大学院に留学する目的を持って入国した外国人学生のことです。

すなわち、出入国管理及び難民認定法第2条の2別表第1条の4に定める「留学」による在留資格によって入国した者のことです。

なお、同法における他の在留資格によって入国し、その後所定の手続きを経て上記に定める資格に変更することを許された者も「留学生である」をお選びください。

[Q1-6] あなたは、令和3年5月1日時点において社会人学生でしたか。

- ☐ (1) 社会人学生（職に就いている）であった
☐ (2) 社会人学生（退職者または主婦・主夫）であった
☐ (3) 社会人学生ではなかった
(必須選択)

※この設問における「社会人」は、令和3年5月1日時点で、

① 職に就いている者（給料、賃金、その他の経常的な収入を得る仕事に現に就いている者）、

② 給料、賃金、その他の経常的な仕事を得る仕事から既に退職した者、

③ 主婦・主夫

のいずれかに該当する者を指します。なお、臨時的な収入を得る仕事であり、雇用期間が1年未満又は雇用期間の長さに関わらず短時間の勤務（アルバイト・パート等）については「社会人就業」に該当しないものとします。

次のページへ

[Q1-3：選択肢]

- (1) 令和3年度に修了・満期退学していない
(2) 4月
(3) 5月
(4) 6月
(5) 7月
(6) 8月
(7) 9月
(8) 10月
(9) 11月
(10) 12月
(11) 1月
(12) 2月
(13) 3月

令和4年度博士（後期）課程学生の
経済的支援状況に関する調査 [1A]



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



回答者コード：

令和3年5月1日時点、社会人で職に就いていた方におたずねします。

[Q1A-1] 令和3年度における、あなたの雇用先における勤務の扱いについて、該当する番号をお選びください。

選択してください (必須選択)

[Q1A-2] 博士課程在学を契機とした雇用先からの基本給の取り扱いの状況について、下記の選択肢から該当する番号をお選びください。

選択してください (必須選択)

[Q1A-3] 上記[Q1A-2]において「(1) 変化なし」「(2) 減額され支給」とお答えになった方におたずねします。

あなたが雇用先から得られた年間の収入額の範囲を選択してください。

選択してください

次のページへ

[Q1A-1：選択肢]

- (1) 有給休暇
- (2) 研修扱い
- (3) 無給休暇
- (4) 時間短縮勤務
- (5) 通常と変わらない（裁量労働、または夜間や休日に通学）
- (6) 休職
- (7) その他

[Q1A-2：選択肢]

- (1) 変化なし
- (2) 減額され支給
- (3) 全く支給されない

[Q1A-3：選択肢]

- (1) 180万円未満
- (2) 180万円以上290万円未満
- (3) 290万円以上

令和4年度博士（後期）課程学生の
経済的支援状況に係る調査 [2]



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



回答者コード：

TA（ティーチング・アシスタント）・RA（リサーチ・アシスタント）の実施状況について、おたずねします。

[Q2-1] あなたは、令和3年度からTAまたはRAとして給与・謝金の受給を受けていましたか。

- ☐ (1) TA業務とRA業務の両方に従事していた
☐ (2) TA業務のみに従事していた
☐ (3) RA業務のみに従事していた
☐ (4) TA業務とRA業務のどちらにも従事していなかった

(必須選択)

※本調査における「給与」とは、労働等に対して支払われる対価報酬を指します。

TA（ティーチング・アシスタント）とは、学部学生に対するチュータリング（助言）や実験、実習、演習等の教育補助業務（具体的には、演習のディスカッションリーダー、レポート・試験等の採点など）を行い、これに対する手当を支給される大学院学生を指します。

RA（リサーチ・アシスタント）とは、大学等が行う研究プロジェクト等の研究補助業務を行い、これに対する手当を支給される大学院学生を指します。

役割の消書きがTA、RAでなかった場合でも、それに準じる業務内容で金銭的対価を得ていた場合は「従事していた」を選択してください。

[Q2-2] 上記の[Q2-1]において「TA業務に従事」または「RA業務に従事」とお答えになった方におたずねします。

あなたの1年間のTA業務・RA業務のおおよその従事時間および受給額を整数で入力してください。

なお、裁量労働制の業務が含まれる場合は実際の従事時間を記入し、チェックを入れてください。

TA従事時間 約 時間（半角英数のみ） ☐ 裁量労働に該当 TA受給額 約 円（半角数字のみ）

RA従事時間 約 時間（半角英数のみ） ☐ 裁量労働に該当 RA受給額 約 円（半角数字のみ）

[Q2-3] 上記の[Q2-1]において「TA業務に従事」とお答えになった方におたずねします。

あなたのTA業務の内容について、下記から該当する全てにチェックしてください。

- ☐ (1) 実験・実習の準備 ☐ (2) 実験・実習時の学生への指導・助言 ☐ (3) 学生への講義の実施
☐ (4) セミナーや演習などのコメント・指導 ☐ (5) レポートや課題・試験などの採点・評価 ☐ (6) 授業等への出席の記録
☐ (7) 学生からの質問対応 ☐ (8) その他(具体的に)

「(8) その他」にチェックした方は具体的な内容を記載してください。

[Q2-4] 上記の[Q2-1]において「RA業務に従事」とお答えになった方におたずねします。

あなたのRA業務に関連する研究について、下記から該当する全てにチェックしてください。

- ☐ (1) 基礎的研究、大学の自主財源による研究 ☐ (2) 国からの競争的な経費による研究 ☐ (3) 民間団体（企業等）との共同研究
☐ (4) 研究開発機関との共同研究 ☐ (5) 受託研究 ☐ (6) 不明
☐ (7) その他(具体的に)

「(7) その他」にチェックした方は具体的な内容を記載してください。

次のページへ

令和4年度博士（後期）課程学生の
経済的支援状況に係る調査 [3]



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



回答者コード：

アルバイトまたは副業の実施状況について、おたずねします。

[Q3-1] あなたは、令和3年度にアルバイトまたは副業をしていましたか。

- ☐ (1) アルバイトまたは副業をしていた
☐ (2) アルバイトも副業もしていなかった
(必須選択)

※本調査におけるアルバイトは、一つ前の調査ページでたずねたTA業務、RA業務を含まないものとします。
本調査における副業は、労働を伴う副業のみを指し、投資等を含まないものとします。

[Q3-2] 上記の[Q3-1]で「(1) アルバイトまたは副業をしていた」と回答した方におたずねします。

あなたが行っていたアルバイトまたは副業の種類を、下記から該当する全てにチェックしてください。

- ☐ (1) 塾・予備校の講師・家庭教師・通信教育の添削
☐ (2) 一般事務
☐ (3) 販売・飲食業
☐ (4) 宿直・警備・工事・交通誘導・工場勤務
☐ (5) 上記以外で、自らの専門的知識を活かした業務（執筆・翻訳・通訳・編集・非常勤講師等）
☐ (6) その他

[Q3-3] 上記の[Q3-1]で「(1) アルバイトまたは副業をしていた」と回答した方におたずねします。

あなたがアルバイトまたは副業を行った理由を下記から該当する全てにチェックしてください。

- ☐ (1) 生活費を稼ぐため
☐ (2) 勉強費を稼ぐため
☐ (3) 学生生活を楽するため
☐ (4) 社会経験のため
☐ (5) その他

[Q3-4] 上記の[Q3-1]で「(1) アルバイトまたは副業をしていた」と回答した方におたずねします。

アルバイトまたは副業に、1年間あたり費やした時間および得られたおおよその収入額をお答えください。

なお、成果報酬型/従量労働制の業務が含まれる場合は実際の従事時間を入力し、チェックを入れてください。

従事時間 約 時間（半角英数字のみ） ☐ 成果報酬型/従量労働に該当 受給額 約 円（半角数字のみ）

※1年閏を52週として計算をしてください。

次のページへ

令和4年度博士（後期）課程学生の
経済的支援状況に係る調査 [4]



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



回答者コード：

あなたが受けていた経済的支援（授業料減免、奨学金等）について、おたずねします。

[Q4-1] あなたは、令和3年度に授業料等の減免を受けていましたか。

- ☐ (1) 減免を受けていた
☐ (2) 減免を受けていなかった
(必須選択)

[Q4-2] 上記の[Q4-1]で「(1) 減免を受けていた」とお答えいただいた方におたずねします。
令和3年度における授業料等の減免額をお答えください。

円（半角数字のみ）

[Q4-3] あなたは、令和3年度に日本学生支援機構の奨学金を受けていましたか。

- ☐ (1) 日本学生支援機構の奨学金を受けていた
☐ (2) 日本学生支援機構の奨学金を受けていなかった
(必須選択)

[Q4-4] 上記の[Q4-3]で「(1) 日本学生支援機構の奨学金を受けていた」とお答えいただいた方におたずねします。
日本学生支援機構の奨学金制度からの令和3年度の貸与額（返還免除になった場合の返還免除額を含む）をお答えください。

円（半角数字のみ）

[Q4-5] 上記の[Q4-3]で「(1) 日本学生支援機構の奨学金を受けていた」とお答えいただいた方におたずねします。
日本学生支援機構の奨学金制度の奨学金は特に優れた業績により返還免除に認定されましたか。または返還免除内定を受けていますか。

選択してください

[Q4-6] 上記の[Q4-5]で「(1) 令和3年度までに貸与終了し、返還免除になった」とお答えいただいた方におたずねします。
貸与年数、貸与総額、返還免除額を、それぞれお答えください。

貸与年数： 年（半角数字のみ）

貸与総額： 円（半角数字のみ）

返還免除額： 円（半角数字のみ）

[Q4-7] あなたは、令和3年度に上記の「授業料等の減免」および「日本学生支援機構の奨学金」以外の経済的支援（奨学金等）を受けていましたか。

- ☐ (1) 受けていた
☐ (2) 受けていなかった
(必須選択)

次のページへ

[Q4-5：選択肢]

- (1) 令和3年度までに貸与終了し、返還免除になった
(2) 令和3年度までに貸与終了したが、返還免除にならなかった
(3) 令和4年度も貸与を受けており、返還免除内定を受けている
(4) 令和4年度も貸与を受けており、返還免除内定は受けていない

令和4年度博士（後期）課程学生の
経済的支援状況に係る調査 [4A]



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



回答者コード：

[Q4A-1] 令和3年度に受けていた「授業料等の減免」「日本学生支援機構の奨学金」以外の経済的支援（奨学金等）についてお尋ねします。
受けていた経済的支援について「経済的支援の種別」「1年間の受給額」を主なもの（最大で5つ）お答えください。
なお、本調査における「経済的支援の種別」は下記の表の通りです。

※「(5) 科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業」「(6) 次世代研究者挑戦的研究プログラム」は
令和3年度より開始された事業のため、受給は年度途中からとなります。

本調査における「経済的支援の種別」

(1) 大学独自の奨学金制度（貸与型）	(2) 大学独自の奨学金制度（給付型）
(3) 博士課程教育リーディングプログラム	(4) 卓越大学院プログラム
(5) 大学フェロシップ創設事業	(6) 次世代研究者挑戦的研究プログラム
(7) 日本学術振興会特別研究員（DC）	(8) 日本学術振興会外国人特別研究員
(9) 日本政府国費留学生	(10) 外国政府国費留学生
(11) 民間団体（企業等）等の奨学金制度（貸与型）	(12) 民間団体（企業等）等の奨学金制度（給付型）
(13) その他の経済的支援（貸与型）	(14) その他の経済的支援（給付型）

支援1種別 選択してください ▼ 支援1の年間受給額 約 円（半角数字のみ）
支援2種別 選択してください ▼ 支援2の年間受給額 約 円（半角数字のみ）
支援3種別 選択してください ▼ 支援3の年間受給額 約 円（半角数字のみ）
支援4種別 選択してください ▼ 支援4の年間受給額 約 円（半角数字のみ）
支援5種別 選択してください ▼ 支援5の年間受給額 約 円（半角数字のみ）

[Q4A-2] 上記の[Q4A-1]の支援の種別に「(13) その他～（貸与型）」または「(14) その他～（給付型）」で回答された場合は支援内容を記入してください。

（任意入力）

次のページへ

[Q4A-1：選択肢]

- (1) 大学独自の奨学金制度（貸与型）
(2) 大学独自の奨学金制度（給付型）
(3) 博士課程教育リーディングプログラム
(4) 卓越大学院プログラム
(5) 大学フェロシップ創設事業
(6) 次世代研究者挑戦的研究プログラム
(7) 日本学術振興会特別研究員（DC）
(8) 日本学術振興会外国人特別研究員
(9) 日本政府国費留学生
(10) 外国政府国費留学生
(11) 民間団体（企業等）等の奨学金制度（貸与型）
(12) 民間団体（企業等）等の奨学金制度（給付型）
(13) その他の経済的支援（貸与型）
(14) その他の経済的支援（給付型）

令和4年度博士（後期）課程学生の
経済的支援状況に係る調査 [5]



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



回答者コード：

あなたが令和3年度に在籍した博士（後期）課程について、おたずねします。

[Q5-1] あなたが令和3年度に在籍した博士（後期）課程への入学年度を選択してください。

選択してください (必須選択)

[Q5-2] あなたが令和3年度に在籍した博士（後期）課程の研究科名を入力してください。

(必須入力)

[Q5-3] あなたが令和3年度に在籍した博士（後期）課程の研究科の専攻名を入力してください。

(必須入力)

調査への回答を完了する

[Q5-1：選択肢]

- (1) 平成22年度（2010年度）
- (2) 平成23年度（2011年度）
- (3) 平成24年度（2012年度）
- (4) 平成25年度（2013年度）
- (5) 平成26年度（2014年度）
- (6) 平成27年度（2015年度）
- (7) 平成28年度（2016年度）
- (8) 平成29年度（2017年度）
- (9) 平成30年度（2018年度）
- (10) 平成31/令和元年度（2019年度）
- (11) 令和2年度（2020年度）
- (12) 令和3年度（2021年度）

令和4年度 博士（後期）課程学生の経済的支援状況に係る調査 [調査回答の完了御礼と博士人材データベースに関するお願い]



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



「令和4年度 博士（後期）課程学生の経済的支援状況に係る調査」へのご回答ありがとうございました。
調査内で入力いただいたメールアドレスに、回答完了の自動送信メールを送信しました。



科学技術・学術政策研究所
National Institute of Science and Technology Policy

本調査結果の博士人材データベースへの情報転送に関するご承諾のお願い

文部科学省 科学技術・学術政策研究所では、博士課程修了者のキャリアパスや博士人材の状況を把握するために博士人材データベース（JGRAD）を運営しています。博士人材データベースにおいて収集したデータは集計して科学技術・学術政策研究所の報告書として公開、政策形成の基礎資料として活用されています。また、近い将来において博士人材データベースのアクティブユーザーを対象に、博士人材のネットワーク構築やキャリア支援に活用していただけるオンラインコミュニティを構築予定です。

【説明資料】博士人材データベース（JGRAD）および博士人材向けSNSについて[12月22日版]

博士人材データベースへの登録および情報付加のため、本調査結果の情報転送にご承諾いただきますようお願いいたします。

[QJ-1] あなたの博士人材データベース（JGRAD）のアカウント発行状況を選択してください。

選択してください

[QJ-2] 今回のあなたの調査回答を博士人材データベース（JGRAD）に転送し、アカウントの発行または情報の補完をしてもよろしいでしょうか。

選択してください

※ご承諾いただけた方でJGRADアカウント未発行の方には、2023年3月頃にJGRADのログインIDとパスワードをメールアドレスへ送付予定です。
※アカウント発行状況が分からずにご承諾いただいた方には、JGRAD上の情報と照合してメールアドレスへご連絡いたします。

博士人材データベース（JGRAD）に関する情報送信

[QJ-1：選択肢]

- (1) 発行している
- (2) 発行しているか分からない
- (3) 発行していない

[QJ-2：選択肢]

- (1) アカウント発行・情報転送を承諾する
- (2) アカウント発行・情報転送を断る

令和4年度 博士（後期）課程1年次における進路意識と経済的支援状況に関する調査
（日本語版ウェブ調査票の回答の再開・更新）



科学技術・学術政策研究所

National Institute of Science and Technology Policy

過去の回答の再開・更新用フォーム（日本語版ウェブ調査票）

ここは「博士（後期）課程1年次における進路意識と経済的支援状況に関する調査」の日本語版ウェブ調査票の回答の再開、修正を行うためのログインページです。日本語版ウェブ調査票の回答と再開、更新したい方は、下記の欄に「大学・研究科コード」「過去の回答者コード」「記入したメールアドレス」を入力をしてください。

初回の回答をこのページから始めることはできません。本調査に初めて回答をする場合は、下記のURLの調査トップページから回答を開始してください。

初回の回答開始用ページ（日本語）：<https://hakase.nistep.go.jp/m/di>

英語版のウェブ調査票で回答した場合は、ここから回答の再開や修正はできません。下記のURLの英語版ウェブ調査票の回答の再開・更新ページへ移動してください。

If you have answered to the English web survey form, you cannot resume or modify your answers from here.

Please go to the following URL to resume or modify your answers of the English web survey form.

Form for resuming/correction of past English response: <https://hakase.nistep.go.jp/m/reie>

調査用の大学・研究科ID （必須入力、半角英数のみ）

過去の回答における回答者コード （必須入力、半角英数のみ）

記入したメールアドレス （必須入力、メールアドレス形式）

回答を再開・更新する

令和4年度博士（後期）課程学生の
経済的支援状況に係る調査 [基本情報の確認と訂正]



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



回答者コード：

記入した大学・研究科コード、学籍番号、氏名、メールアドレスに訂正があれば記載してください。

[Q0-1] 記入した調査用の大学・研究科IDに誤りがあれば、修正してください。

(必須入力、半角英数のみ)

[Q0-2] 令和3年度の博士（後期）課程の学籍番号/学生証IDの記入に誤りがあれば、修正してください。

(必須入力、半角英数のみ)

[Q0-3] あなたの氏名に記入の誤りがあれば、修正してください。

(必須入力)

[Q0-4] あなたの電子メールアドレスに改訂があれば、入力してください

(必須入力、メールアドレス形式)

次のページへ

Academic Year 2022 Survey on Situation of Financial Assistance to Doctoral Students[Top Page]



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

(1) Survey Overview and Aims

This survey is conducted to ascertain the situation of financial aid provided to doctoral students. It is conducted in response to stipulations in the 6th Science, Technology, and Innovation Basic Plan (approved by the Cabinet in March 2021) that "By Academic Year 2025, the number of doctoral course students who receive an amount equivalent to living expenses will be tripled from Academic Year 2018 to 30%." The data obtained from this survey is scheduled to be utilized as basic data for considering future policies for graduate school assistance. We ask that you fill out the survey and return it to us. Your cooperation will be greatly appreciated.

(2) Survey implementation system and information sharing system

The Higher Education Planning Division, Higher Education Bureau, Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT) will lead the survey, and will be conducted in collaboration with the National Institute of Science and Technology Policy (NISTEP), Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology. This survey will be conducted by Libertas Consulting Co., Ltd. under contract from the Higher Education Planning Division. In addition, information on "response content" and "response status" will be shared with the administrative office of each university where the survey subject is/was affiliated with a doctoral course. However, regarding the sharing of information on "answers", we ask the university administration to manage the information only among staff at the university headquarters, etc., who do not have contact with individual doctoral students in their normal work. On the other hand, regarding the sharing of "response status" information, it is possible to transmit it to faculty members of the graduate school, etc., so that it can be used for the distribution of survey IDs and reminders to those who have not responded.

(3) Subjects of this survey and a parallel survey being conducted

The subjects of this survey are all those who were enrolled in a doctoral course at a university in Japan in Academic Year 2021 (April 2021 to March 2022). At the time of the survey, those who have already completed or withdrawn from school with credits earned will also be included in the survey. On the other hand, for those who proceeded to the doctoral course in Academic Year 2022 (after April 2022), NISTEP separately conducts "Survey on career awareness and financial support in the first year of the doctoral course". If you have not received your survey ID from the university administration, or if there is an error in your survey ID of university and graduate school, please contact the person conducting the survey ([inquiry form](#)) or the university administration that distributed your survey ID.

(4) Purpose of use of response information

MEXT will use the personal information included in the response information for the following purposes.

- [1] Preparation and publication of statistics on financial support for those enrolled in and completing doctoral course
- [2] Analysis and academic research on financial support for those enrolled in and completing doctoral course
- [3] Enrolled and completed doctoral course
- [4] Transfer of information to the Japan Graduates Database (JGRAD) operated by the National Institute of Science and Technology Policy [Only if the respondent separately consents after completing the survey]
- [5] Various investigations, requests, and communication/communications for information provision regarding the above [1] [2] [3] [4] (including confirmation communications in the event of inconsistencies or deficiencies in the responses to this survey)

Regarding the statistics of [1] and the analysis results of [2] above, no information that can identify individuals will be disclosed.

Regarding the Japan Graduates Database (JGRAD) in [4] above, please refer to ["What is JGRAD?"](#).

(5) Safety measures

MEXT appropriately handles all personal information in accordance with the Act on the Protection of Personal Information Held by Administrative Organizations and other related laws. MEXT takes all necessary measures to appropriately manage personal information and to prevent the leaking or loss of personal information or the use of it for malicious purposes.

(6) English web survey form and form for resuming and correction responses.

If you would like to answer to the Japanese web survey form, please start your answer from the following URL.

(本調査のウェブ調査票は、日本語と英語で用意しています。日本語版ウェブ調査票で回答したい場合は、下記のURLから回答を開始してください。)

Japanese web survey form (日本語ウェブ調査票) : <https://hakase.nistep.go.jp/m/aj?kminjp=1>

For this survey, you can resume or modify your answers by logging in with your "your survey ID of university and graduate school", "respondent code", and "E-mail Address" on the page for resuming and modifying responses. The "respondent code" will be automatically issued when you fill in the necessary items in the following fields on this top page and click the button. The issued "response code" will be automatically sent by e-mail and will be displayed in the upper right corner of the questionnaire page. If you would like to resume or correct your responses to the English version of the web questionnaire, please start from the URL below.

Reopen/Update Form for Previous Answers : <https://hakase.nistep.go.jp/m/reae>

In addition, the page for resuming and correcting responses is divided into the Japanese version of the web survey form and the English version of the web survey form. If you have responded to the English version of the web survey form, you will need to log in from the English version of the response resumption/correction page.

(7) Deadline for response to this survey

The deadline for web response of "Academic Year 2022 Survey on Situation of Financial Assistance to Doctoral Students" is January 23, 2023 (Mon).

(8) Request for survey cooperation

As indicated in "(1) Purpose of this survey," this survey is conducted with the aim of understanding and expanding the actual state of financial support for graduate and doctoral course students. If you fall under the survey target shown in "(3) Subjects of this survey" and understand the purpose of the survey and the handling of information, please fill in your survey ID of university and graduate school for the survey received from the university administration office or the survey executor and respond to the web survey.

your survey ID of university and graduate school (Required, alphanumeric characters only)

Student ID Number/Student ID (Required, alphanumeric characters only)

* If you are not a doctoral student at the survey period and have forgotten your student ID number, please enter "forget" in this field.

* Even if your student ID number contains a hyphen, please enter without the hyphen.

Full name (Required)

Email address (Required, email address format)

※When you start answering by clicking the button below, the information necessary to confirm and resume answering will be sent to the email address you entered.

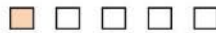
start answering

Academic Year 2022 Survey on Situation of Financial Assistance to Doctoral Students [1]



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



respondent code :

About your doctoral course in academic year 2021.

[Q1-1] Have you completed your doctoral course in academic year 2021?

- ☐ (1) Yes
☐ (2) No
(Required)

※ Completion of a doctoral course in this survey includes so-called withdrawal with credits (maturity), "enrolled for more than the prescribed number of years and withdrew after acquiring prescribed credits."

[Q1-2] For those who have completed their doctoral course during academic year 2021.
Had you obtained a PhD as of March 31, 2022?

- ☐ (1) Yes
☐ (2) No
(Optional entry)

[Q1-3] For those who have completed their doctoral course during academic year 2021.
Please select the number of the month you obtained your PhD. (or for those who have received all required credits but not completed your doctoral thesis, your last month in the program).

Select one item (Required)

[Q1-4] Is your period of attendance of the doctoral course at the end of academic year 2021 (at the time of completion for those who have completed) within the standard course term?

- ☐ (1) Within the standard course term
☐ (2) Over the standard course term
(Required)

※ For example, if the standard course term is 3 years and you enrolled in academic year 2019, it is the third year of enrollment in academic year 2021, so the answer will be (1).

[Q1-5] Were you a student studying abroad? Select the appropriate number.

- ☐ (1) Yes, I graduated from a university outside Japan (I came to Japan from graduate school)
☐ (2) Yes, I graduated from a university in Japan (I came to Japan from a university department)
☐ (3) No
(Required)

※ "Studying abroad" refers to a foreign national student who has entered the country with the purpose of studying at a Japanese university.

That is, those who have entered the country on a Student visa, as stipulated in Article 1.4 of Appendix 2 of Article 2 of the Immigration Control and Refugee Recognition Act.
Answer "No. 1 Yes" also if you have successfully changed visa according to the stipulated procedures after having entered the country on a different visa as per the above law.

[Q1-6] Were you a member of society as of May 1, 2021? Select the appropriate number.

- ☐ (1) Yes, I was employed (engaged in jobs that earn salaries, wages, or other ordinary income)
☐ (2) Yes, I had already retired from salary, wage, other recurring jobs, or housewives/househusbands
☐ (3) No
(Required)

※ As of May 1, 2021, "members of society" in this question are:

- [1] Persons who are employed (persons who are currently engaged in jobs that earn salaries, wages, or other ordinary income);
[2] Those who have already retired from salary, wage, or other recurring jobs,
[3] housewives / househusbands.

In addition, work for which you receive income temporarily or an employment period less than a year or part time work regardless of length of contract does not constitute experience as a productive member of society.

next

[Q1-3 : Select List]

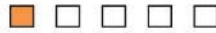
- (1) Neither completed nor withdrew in academic year 2021
(2) April
(3) May
(4) June
(5) July
(6) August
(7) September
(8) October
(9) November
(10) December
(11) January
(12) February
(13) March

Academic Year 2022 Survey on Situation of Financial Assistance to Doctoral Students [1A]



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



respondent code:

About those who were member of society as of May 1, 2021.

[Q1A-1] Select the appropriate number for your work status when attending school in academic year 2021.

Select one item (Required)

[Q1A-2] Select the appropriate number below for whether you received base salary at your place of work during your doctoral course.

Select one item (Required)

[Q1A-3] About those who answered "(1)Received it in full", "(2)Received a reduced amount" in [Q1A-2].

If you don't mind, select the appropriate number below that corresponds to your approximate annual income from your employer.

Select one item

next

[Q1A-1 : Select List]

- (1) Paid leave
- (2) Corporate training
- (3) Unpaid leave
- (4) Shortened work hours
- (5) No change to work hours (discretionary working systems, attendance at school at night, or on off days)
- (6) Long-term leave from work
- (7) Other

[Q1A-2 : Select List]

- (1) Received it in full
- (2) Received a reduced amount
- (3) Received no base salary

[Q1A-3 : Select List]

- (1) Less than 1.8 million yen
- (2) More than 1.8 million yen and less than 2.9 million yen
- (3) 2.9 million yen or more

Academic Year 2022 Survey on Situation of Financial Assistance to Doctoral Students [2]



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



respondent code:

About the situation of Teaching assistant (TA) and Research assistant (RA).

[Q2-1] Select the appropriate number below for whether that correspond to receipt of wages/gratuities from the duties that you were obliged to undertake in academic year 2021.

- ☐ (1) Both TA duties and RA duties
- ☐ (2) TA duties, only
- ☐ (3) RA duties, only
- ☐ (4) No

(Required)

*"Salary" in this survey refers to remuneration paid for labor, etc.

Teaching assistant (TA) means a graduate student who provides tutoring (counseling), assistance in experiments, practical learning, drills, etc. (specifically drill discussion leaders, those who correct and grade reports, experiments, etc.) and is paid for such service.

Research assistant (RA) means a graduate student who assists in research, such as research projects undertaken by the university, and is paid for such service.

Even if the title of the role was not TA or RA, please select the number (1)-(3) if you received financial compensation for the work content corresponding to it.

[Q2-2] About those who answered TA duties and/or RA duties in [Q2-1].

Write the integer for the amount of time you spent during one year on TA duties and/or RA duties. Also, write the annual income from TA duties and/or RA duties.

If the duties include the discretionary working systems or the like, please write the actual time and check the box.

TA duties About hours(numeric characters only) ☐ Discretionary working systems TA salary About yen(numeric characters only)

RA duties About hours(numeric characters only) ☐ Discretionary working systems RA salary About yen(numeric characters only)

[Q2-3] About those who answered TA duties in [Q2-1].

Check for all the items that correspond to the details of your TA duties from among the options below.

- ☐ (1) Experiments/practical training
- ☐ (2) Guidance and counseling to students during experiments and practical training
- ☐ (3) Lectures given to students
- ☐ (4) Comments and guidance on seminars and drills
- ☐ (5) Correcting/grading of reports, homework/ tests, etc.
- ☐ (6) Recording attendance in classes
- ☐ (7) Responding to questions from students
- ☐ (8) Other (specifically)

If you select "(8)other" then please specify the details.

[Q2-4] About those who answered RA duties in [Q2-1].

Check for all the items that correspond to the details of your RA duties from among the options below.

- ☐ (1) Research conducted on basic costs or university's own funding
- ☐ (2) Research conducted with competitive funding from national government
- ☐ (3) Joint research with corporations or other private sector organizations
- ☐ (4) Joint research with R&D institutions
- ☐ (5) Research on consignment
- ☐ (6) Unknown
- ☐ (7) Other (specifically)

If you select "(7)other" then please specify the details.

next

Academic Year 2022 Survey on Situation of Financial Assistance to Doctoral Students [3]



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



respondent code:

About the situation of part-time jobs or side jobs.

[Q3-1] Did you have an extra part-time job and/or side job during academic year 2021?

- ☐ (1) Yes
- ☐ (2) No

(Required)

※Part-time jobs in this survey do not include the TA and RA duties asked on the previous questions.
Side jobs in this survey refer only to side jobs that involve labor, and do not include investments, etc.

[Q3-2] About those who had an extra part-time job and/or side job in [Q3-1].

Check for all the items that correspond to the type of extra job and/or side job you had from among the options below.

- ☐ (1) Instructor at Juku cram school, prep school, home tutor, checking/correcting papers for correspondence learning
- ☐ (2) General clerical work
- ☐ (3) Sales, restaurants
- ☐ (4) Night watch, guard, construction, traffic conducting, factory work
- ☐ (5) Jobs you did on your own using specialist knowledge (such as writing, translating, interpreting, editing, and lecturer)
- ☐ (6) Other

[Q3-3] About those who had an extra part-time job and/or side job in [Q3-1].

Check for all the items from the options below for the reason you took the extra job and/or side job.

- ☐ (1) To earn living expenses
- ☐ (2) To earn expenses associated with studying
- ☐ (3) To earn enough to enjoy student life
- ☐ (4) For experience out in society
- ☐ (5) Other

[Q3-4] About those who had an extra part-time job and/or side job in [Q3-1].

Write the integer for the amount of time you spent during one year on the extra part-time job and/or side job.

Also, write the annual income from the extra part-time job and/or side job. If the extra part-time job and/or side job include the discretionary working systems or the like, please write the actual time and check the box.

About hours (numeric characters only) ☐ Discretionary working systems salary About yen (numeric characters only)

※ Please calculate assuming that one year is 52 weeks.

next

Academic Year 2022 Survey on Situation of Financial Assistance to Doctoral Students [4]



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



respondent code:

About economic support you received (Scholarship, Tuition fee waiver, etc.)

[Q4-1] Did you receive a tuition fee waiver in academic year 2021?

- ☐ (1) Yes
☐ (2) No
(Required)

[Q4-2] About those who answered "Yes" in [Q4-1].

Please write the annual amount of tuition fee waiver.

yen (numeric characters only)

[Q4-3] Did you receive a loan scholarship from the Japan Student Services Organization in academic year 2021?

- ☐ (1) Yes
☐ (2) No
(Required)

[Q4-4] About those who answered "Yes" in [Q4-3].

Please write the annual amount (including the amount exempted from repayment if exempted from repayment) received from the loan scholarship system of Japan Student Services Organization.

yen (numeric characters only)

[Q4-5] About those who answered "Yes" in [Q4-3].

Were you eligible for repayment exemption of the scholarship from the Japan Student Services Organization for your excellent grades? (Or did you get an offer for repayment exemption?)

Select one item

[Q4-6] About those who answered "(1) Ended the loan scholarship in academic year 2021 and exempted from repayment" in [Q4-5].

Please write the loan period, total loan amount, and repayment exemption amount.

Loan years : years (numeric characters only)

Total loan amount : yen (numeric characters only)

Repayment exemption amount : yen (numeric characters only)

[Q4-7] Did you receive economic support (scholarships, etc.) other than the above-mentioned "Tuition Fee Waiver" and/or "Japan Student Services Organization Scholarships" in academic year 2021?

- ☐ (1) Yes
☐ (2) No
(Required)

next

[Q4-5 : Select List]

- | |
|---|
| (1) Ended the loan scholarship in academic year 2021 and exempted from repayment |
| (2) Ended the loan scholarship in academic year 2021 but did not exempted from repayment |
| (3) Receiving the loan scholarship in academic year 2022 and getting an offer for repayment exemption |
| (4) Receiving the loan scholarship in academic year 2022 but not getting an offer for repayment exemption |

Academic Year 2022 Survey on Situation of Financial Assistance to Doctoral Students [4A]



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



respondent code:

[Q4A-1] About the economic support you received in academic year 2021, please answer [a. kinds of economic support] and [b. amount received for one year].
The "kinds of economic support" in this survey is as shown in the table below. *Please write up to 5 main supports.

※Since "University fellowships towards the creation of science technology innovation" and "Support for Pioneering Research Initiated by the Next Generation" started in academic year 2021, economic support will be received from the middle of the academic year.

table of "kinds of economic support" in this survey

(1) University-unique scholarship system (loan type)	(2) University-unique scholarship system (benefit type)
(3) Program For Leading Graduate Schools	(4) Doctoral Program for World-leading Innovative & Smart Education
(5) University fellowships towards the creation of science technology innovation	(6) Support for Pioneering Research Initiated by the Next Generation
(7) JSPS Research Fellowship for Young Scientists (DC)	(8) JSPS Postdoctoral Fellowship for Research in Japan
(9) Japanese Government (MEXT) Scholarships	(10) Foreign government-funded Scholarships
(11) Scholarship system (loan type) from private organizations (businesses, etc.)	(12) Scholarship system (benefit type) from private organizations (businesses, etc.)
(13) Other economic support (loan type)	(14) Other economic support (benefit type)

[a. kinds of economic support] 1
[b. amount received for one year] About yen(numeric characters only)

[a. kinds of economic support] 2
[b. amount received for one year] About yen(numeric characters only)

[a. kinds of economic support] 3
[b. amount received for one year] About yen(numeric characters only)

[a. kinds of economic support] 4
[b. amount received for one year] About yen(numeric characters only)

[a. kinds of economic support] 5
[b. amount received for one year] About yen(numeric characters only)

[Q4A-2] About those who answered "(13) Others (loan type)" or "(14) Others (benefit type)" for the type of support in [Q4A-1], please describe the details of the support.

(Original entry)

next

[Q4A-1 : Select List]

- (1) University-unique scholarship system (loan type)
- (2) University-unique scholarship system (benefit type)
- (3) Program For Leading Graduate Schools
- (4) Doctoral Program for World-leading Innovative & Smart Education
- (5) University fellowships towards the creation of science technology innovation
- (6) Support for Pioneering Research Initiated by the Next Generation
- (7) JSPS Research Fellowship for Young Scientists (DC)
- (8) JSPS Postdoctoral Fellowship for Research in Japan
- (9) Japanese Government (MEXT) Scholarships
- (10) Foreign government-funded Scholarships
- (11) Scholarship system (loan type) from private organizations (businesses, etc.)
- (12) Scholarship system (benefit type) from private organizations (businesses, etc.)
- (13) Other economic support (loan type)
- (14) Other economic support (benefit type)

Academic Year 2022 Survey on Situation of Financial Assistance to Doctoral Students [5]



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



respondent code:

About your doctoral course in academic year 2021.

[Q5-1] Please select the year you enrolled in the doctoral course.

Select one item (Required)

[Q5-2] What is your graduate school?

(Required)

[Q5-3] What is your major?

(Required)

finish answering

[Q5-1 : Select List]

- (1) academic year 2010
- (2) academic year 2011
- (3) academic year 2012
- (4) academic year 2013
- (5) academic year 2014
- (6) academic year 2015
- (7) academic year 2016
- (8) academic year 2017
- (9) academic year 2018
- (10) academic year 2019
- (11) academic year 2020
- (12) academic year 2021

Academic Year 2022 Survey on Situation of Financial Assistance to Doctoral Students

[Thank you for completing the survey and request for the Japan
Graduates Database]



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



Thank you for cooperating in completing the survey.
We have sent an automatic e-mail to your e-mail address for confirmation.



科学技術・学術政策研究所
National Institute of Science and Technology Policy

Request for Consent to Information Transfer and Registration to Japan Graduates Database

National Institute of Science and Technology Policy (NISTEP) manages Japan Graduates Database (JGRAD) to survey career information etc. The reports based on JGRAD data published by NISTEP. The JGRAD data is also used as basic data for policy formation. In the near future, NISTEP will establish an online community for active users of JGRAD.

[Explanatory Material] JGRAD (Japan Graduates Database) and Online Community of Doctoral Human Resources [ver. Dec. 22]

NISTEP would appreciate if you consent to forward your response data of this survey for registration and additional information to JGRAD.

[QJ-1] Please select your JGRAD account issuance status.

Select one item

[QJ-2] Please let us know if your response to this survey can be forwarded to JGRAD to issue an account or complete information.

Select one item

*For those who have given consent but have not yet issued a JGRAD account, we plan to send a JGRAD login ID and password to your email address around March 2023.
*For those who consent without knowing the account issuance status, we will check the information on JGRAD and contact you by e-mail.

submitting your confirmation about JGRAD

[QJ-1 : Select List]

- (1) I have JGRAD account.
- (2) I don't know if my JGRAD account has been issued.
- (3) I don't have JGRAD account.

[QJ-2 : Select List]

- (1) I accept the issuance of a JGRAD account and the transfer of information.
- (2) I decline the issuance of a JGRAD account and the transfer of information.

Academic Year 2022 Survey on Situation of Financial Assistance to Doctoral Students

Form for resuming/updating past responses (English web questionnaire)



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

Form for resuming/updating past responses (English web questionnaire)

This is the login page for resuming or correcting responses to the English version of the "Survey on Situation of Financial Assistance to Doctoral Students". If you would like to answer, resume, or update the English version of the online questionnaire, please enter your "your survey ID of university and graduate school", "past response code", and "filled email address" in the fields below.

You cannot start your response from this page for the first time. If you are answering this survey for the first time, please start answering from the top page of the survey at the following URL.

Answer start page for the first time (English) : <https://hakase.nistep.go.jp/m/ae>

If you have answered to the Japanese web survey form, you cannot resume or modify your answers from here.

Please go to the following URL to resume or modify your answers of the Japanese web survey form.

日本語版のウェブ調査票で回答した場合は、ここから回答の再開や修正はできません。下記のURLの日本語版ウェブ調査票の回答の再開・更新ページへ移動してください。

Form for resuming/correction of past Japanese response: <https://hakase.nistep.go.jp/m/rea>

your survey ID of university and graduate school (Required, alphanumeric characters only)

respondent code in previous answer (Required, alphanumeric characters only)

Entered email address (Required, alphanumeric characters only)

resuming and correcting answer

Academic Year 2022 Survey on Situation of Financial Assistance to Doctoral Students [Confirmation and Correction of Basic Information]



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



respondent code:

If there are any corrections to the university/graduate school code, student ID number, name, and email address that you entered, please write them down.

[Q0-1] If there is an error in your survey ID of university and graduate school you entered for the survey, please correct.

(Required, alphanumeric characters only)

[Q0-2] If there are any errors in the entry of the student ID number/student ID card for the doctoral program in academic year 2021, please correct.

(Required, alphanumeric characters only)

[Q0-3] If there is an error in your name, please correct.

(Required)

[Q0-4] Please enter any revisions to your e-mail address.

(Required, alphanumeric characters only)

next